

2021年1月の行事予定表

| | | | | | |
|----|---|--|----|---|---------------------|
| 1 | 金 | | 16 | 土 | |
| 2 | 土 | | 17 | 日 | 礼拝式 |
| 3 | 日 | 新年礼拝式、聖餐式 | 18 | 月 | |
| 4 | 月 | | 19 | 火 | ナザレン教団・年会評議会(オンライン) |
| 5 | 火 | | 20 | 水 | |
| 6 | 水 | | 21 | 木 | 祈禱会 |
| 7 | 木 | 祈禱会 | 22 | 金 | |
| 8 | 金 | | 23 | 土 | |
| 9 | 土 | | 24 | 日 | 礼拝式 |
| 10 | 日 | 礼拝式、教会役員会 | 25 | 月 | |
| 11 | 月 | ナザレン・地区牧師会 午前11時。 地区協議会午後1時。(オンライン) | 26 | 火 | |
| 12 | 火 | | 27 | 水 | |
| 13 | 水 | | 28 | 木 | 祈禱会 |
| 14 | 木 | 祈禱会 | 29 | 金 | |
| 15 | 金 | | 30 | 土 | |
| | | | 31 | 日 | 礼拝式 |

1月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 万有引力を発見したアイザック・ニュートンの言葉『ほかにどんな証拠がなくとも、私は親指一本を見て、神の存在を確信するだろう。』このひと言を本の中に見つけたとき、コロナ禍一色だった2020年の終わりに深く息をつくことができました。ほかにどんな証拠がなくとも、イエス・キリストが生まれてくださったクリスマスのことを思って、神の存在を確信します」と日記に書きました。
- ◇ 今号は、教会員それぞれのクリスマスの喜びが届いています。◇きたる2021年も、皆さまがイエス様のお守りの内に過ごされますよう祈りつつ。

教会月報

2021年1月
No.356

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

信仰者の歩み

「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。悲しむ人たちは幸いである、その人たちは慰められる。柔和な人たちは幸いである、その人たちは血を受け継ぐ。義に飢え渴く人たちは幸いである、その人たちは満たされる。」

マタイによる福音書5章3-6節

新年あけましておめでとうございます。

本年も主イエス・キリストにあつてよろしくお願い申し上げます。昨年新型コロナウイルスに翻弄されました。今年もますます影響が及ぶことですが、速やかな終息を祈るばかりです。

新しい年を迎えました。昨今、将棋界のプリンスと言われる藤井聡太2冠の活躍には驚かされます。それ以前にも若くして活躍され最近まで現役の将棋士を続け、5つのタイトルを獲得された加藤一二三(81歳)さんがいらっしゃいます。加藤さんは30歳の時、カトリック教会で洗礼を受けられご自身の人生は信仰に支えられてきたと語られています。

ではその信仰とは何か？ 昨年9月、日本キリスト教団出版局より、「だから私は、神を信じる」を出版されました。内容は、上記に記した御言葉より、心の貧しい人とは、自分が人生を歩んでゆくにあたって、ただ神様だけにより頼む人であると思う。また、神を見るのは、心の清い人であると言われる。自分の目的のために人と接することをしない人、つまり自分の目的を達成するために人を用いたりすることがない人を指すと言われる。真剣勝負の将棋においても彼は、神様を信じて行った。勝つ時も負ける時もあつたでしょうが、彼はどんな時でも神様を信じて勝負に挑んだのです。そうしたら、神が味方して下さったと。常に神の存在を感じつつ信仰生活を送れることは何と幸いなことでしょう。

牧師 永松 清



Merry Christmas !!

2020 クリスマス
おめでとう
ございます!!

クリスマス礼拝&キャンドルサービス
レポート

12月20日に今年のクリスマス礼拝が行われました。新型コロナ・ウイルス対策で参加者も15名ほどの寂しいクリスマス礼拝となりましたが、参加者は聖餐式にあずかり、主のご降誕を心より感謝しました。



教会玄関のツリー
～永松牧師撮影～

12月24日のキャンドルサービス(燭火礼拝)は、19時30分より行われましたが、参加者はこちらも9名と寂しい状況でした。点灯は K. 姉の息子さんが行ない、参加者はろうそくの灯りの中で永松師のメッセージを厳粛に心に刻みつけていました。

来年は多くの方が集うクリスマスになりますよう、心より祈ります。



教会学校「サンタがうちにやってきた!!」
～12月19日～

今年の教会学校は、ほとんど休校のままクリスマスを迎えました。クリスマスの行事もなくこのまま今年を終えていいのか。せめていつもと違うなにか嬉しいわくわくしたものにできないか。そこでプレゼントをサンタに届けてもらうことにしました。



突然きたサンタに「どうやってきたん?」「日本には入れたの?」という質問攻めや、お昼寝明けでどう反応して良いかわからない子、ビックリして転んでしまう子も。と反応は様々でした。コロナの年、プレゼント+αをとどけられたでしょうか?



教会員から寄せられた
クリスマス・レポート特集 (敬称略)

今年のクリスマスは、新型コロナ・ウイルス感染防止として、例年の「みんなで集まってお祝い」をとりやめ、それぞれでイエス様のご降誕をお祝いしました。

★R.K.姉□「クリスマスは教会で」が合言葉のように、大人も子供も教会に集う。そんな戦後!! 車のない時代、1時間以上も歩いて出席される方も多く、会堂の床が抜け落ちる位でした。これを機会に入信し、連日各地で家庭集会が持たれ…。やがて神学校へそして牧師に、という方も。その中に、讃美歌「ああ主のひとみ まなざしよ」の作詞者・井置利男先生は子供の頃の最高の話し相手でした。今も時々便りをし、なつかしんでいます。クリスマスはそんな幼い頃を思い起こさせてくれるのですね。



★永松淑子・永松清□「我が家のクリスマス」わたしたちの家庭は結婚以来、教会であわただしくクリスマスの季節を過ごしてきました。室蘭伝道所(教会)、大阪枚方の楠葉台教会時代、そして岡山ナザレン教会に赴任して30数年が経ちました。例年、教会では年に一度の大イ



ベントである「クリスマス」は忙しい時でありました。ゆっくり楽しむ暇もありません。今年はコロナ禍の中、ステイ・ホームが求められています。そこで、妻淑子の発案で、ゆっくりクリスマスを二人で祝いましょう! となりました。25日のクリスマスの日、神の御子イエス様のご降誕を、賛美と聖書を通して御言葉をかみしめながらその時を過ごしたいと思います。

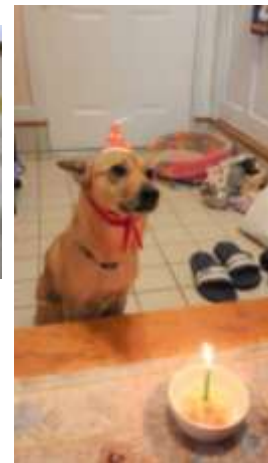
★K.F.姉□今年のクリスマスイブは、ナザレン含め日本各地の教会の燭火礼拝のネット中継や配信動画を見ました。一度ナザレンの修養会にお招きした、九州の東八幡教会の奥田先生の説教がとても印象深いものでした。居ながらにしていろんな教会の礼拝に与ることができ、クリスマスをテーマにしたいろいろな説教が聞けて、とても恵まれました。



見終わった後、柴犬のひなこ、猫のニャンキートとで平和の挨拶を交わしました。教会員の皆様にもキリストの平和がありますように!



★K.M.姉□「M 家のクリスマス」姉がミンスパイを作った。次は私が愛犬のためのサツマイモとにんじんケーキを作りました。



★I.S.姉□メリークリスマス!
24日は夕方に大好きなスパゲティカルボナーラを夫と食べて、教会のキャンドル礼拝に行きました。25日は朝から夫婦で健康診断に行きました。健康に過ごせそうです。



お知らせ
2021年1月1日(金)
元旦礼拝は自由参加。
新年礼拝は1月3日(日)です。



★S.O.姉□「そろばん教室」の子どもたちとクリスマスを過ごしました。(12月24日)

クリスマスはイエスさまのお誕生日。どのようにお生まれになったのでしょうか。



～キャンドルサービス 夫も参加～



今年は、かつて教会で披露された「クリスマスページェント」の台本をお借りし、少しアレンジしたものを準備しました。役割分担してみんなで読み合いました。



「ジングルベル」、「きよしこの夜」をピアノ演奏した Sちゃん(小2)、練習曲を暗譜演奏した Kちゃん(小4)、自作の手品を披露した Rくん(中1)。私は何十年ぶりでケーキを焼きました。子どもたちの笑顔を見て、若き日にイエス様に会い、心の片隅に残して成長して欲しいと祈りました

～交換プレゼント一番のお楽しみ～

